



筑波山山行報告

【山行日】2016年 4月 16日(日) 晴れ

【集 合】 結城アクロスP AM 8:00

【費 用】 マイカー2台 : 600円

【メンバー】 CL: 鈴木ユ、岩淵、大西、梶内、
島田、鈴木ヤ、津佐、福田、渡辺ト

【コースタイム】結城アクロス P8:00＝筑波高原キャン
プ場 P8:45/9:00～男の川登山口 9:15～

自然研究路分岐 10:00～男体山 10:20/10:30～カタク

リ群生地先ベンチ 10:45/11:30～女体山 11:50～筑波高原キャンプ場 P12:30＝結城アクロス P13:30

今年の筑波山はニリンソウの花を求めて、男の川登山口から周遊コースを登ることにした。筑波高原キャンプ場に車を止め、トイレとストレッチを済ませ出発する。車道をしばらく下り、旧ユース Hostel 跡への分岐を右に下ると間もなく「男の川登山口」に着く。登山口にも10台位車が止まっていた。登山口から男の川左岸を登ると、50m位先に「大滝大聖不動明王」が祀られている。安全登山を祈願して不動明王に手を合わせる。沢沿いの道を緩やかに登り、何回か渡渉を繰り返し登って行く。杉林を抜けて明るくなると、ニリンソウが沢沿いに群生していた。カタクリの花も見られるようになり、気持ち良く登って行く。沢の中を登ようになるとニリンソウの群落がどんどん大きくなり、ニリンソウの間の小径を登ようになる。しばらく沢の中のニリンソウを楽しみながら歩き、やがて右に沢を離れて登ようになる。急な登山道をミヤマシキミの白い花に励まされ登ると、薬王院から登る道に合わさるT字路に出る。左に進み丸太の階段を少し登ると、自然研究路の分岐に着く。分岐には道標と案内板があり、休憩をとってデコポンや菓子を食べてエネルギーを補給する。自然研究路を右に反時計回りに進み、途中から左の男体山直登コースを登ると男体山御本殿が祀



られた山頂に着く。神社で安全登山を祈願し、関東平野の眺望を楽しんで反対側の御幸ヶ原へ向かって下って行く。御幸ヶ原は大勢の人で賑わっており、まだ時間も早いのでこの先で昼食とする。カタクリ園地を見学し、少し先の大きなベンチでランチタイムとする。先客の御夫婦が休憩していたが、我々がベンチに座ると場所を空けてくれた。「申し訳ありません」と心の中でつぶやき、昼食の準備をする。本日の山ごはんは、温かい「天ぷらそば」です。

冷凍ソバを茹でて器にとり、キノコ汁をかけた上にかき揚げをのせる。初めての試みだったが、「美味しい」と好評だった。タケノコやフキの煮つけ、出



し巻き卵等々、贅沢な山ごはんをいただき大満足。お腹が満たされ、元気いっぱい女体山へ登る。山頂は大勢の登山者で賑わっていたが、いつものおばさんパワーで人を押し出し、記念写真を撮る。混雑しているので場所を空け、直ぐに下山する。下山は女体山を降りた所から、筑波高原キャンプ場の標識に従って降りて行く。笹の急坂を下ると登山道は広く緩やかに降りるようになる。

自然林の中を下ると、登山道の両側にカタクリの花が群生し、とても楽しく下ることが出来る。このコースを登る登山者は少なく、静かな登山が楽しめ人気のコースだ。花々や小鳥のさえずりをじっくり楽しみながら、のんびり降りることが出来てとても良い。キクザキイチゲやエイザンスミレを見つけて騒いでいるうちにキャンプ場の中に入っていた。右側の荒れた道を降りて行くと、ニリンソウの大群落があり歓声が上がる。

駐車場に着き、靴を履きかえてトイレを済ませ帰路につき、予定より早くアクロスの駐車場に着いた。

